

# 紀南病院 研修医通信第40号

2013年11月号(平成25年11月29日発行)

市立堺病院 高田卓磨

「1ヶ月を通じて」

紀南病院での研修はあっという間でした。病棟業務、手技、診療所、神島などたくさん場所で研修を積み重ねて頂き本当に濃い1ヶ月でした。病院の方、地域の方、そして患者さん、すべての人に暖かく研修を支えて頂き本当に感謝しています。

1ヶ月を通して「挨拶の大切さ」「プライマリーケアとは何か」「自分の無力さ」をもう一度考える機会となりました。都会の病院と違い他職種が挨拶を通して連携し合い、より協力しあって地域医療は成り立っていると思いました。地域に一つしかない病院では、その地域の方をゆりかごから墓場まで、全て診ていく必要があります。当然のことかもしれませんが、本当に難しいことだと思います。医師としては知らない疾患、複雑な状況となっても自分で調べ答えを探し、それに対する反省も自ら行う必要があります。またmedical staffと協力し、家庭状況、退院後の事など緻密な計算を日々行っていかなければいけません。都会の病院で人も多く、検査もたやすい環境にいた私にとっては非常に充実した研修となりました。

色々な場面でたくさんの方のことを教えて頂きありがとうございました。熊野の美味しい食べ物、海、素晴らしい環境の中で研修できたことは自分の糧となり、これからの医師人生に大きな意味をもつと思います。

最後に、今の自分では紀南病院の医師として勤まりません。今後もっと勉強し、医を極め、最後の砦となっている病院でも勤まるよう精進していく次第です。1ヶ月間、本当にありがとうございました。めっちゃ楽しかったです！！



三重大学医学部附属病院 生川未菜

「1ヶ月を振り返って」

紀南病院での研修は本当に充実した1ヶ月間でした。自分がいかに大学病院で甘えた研修を送ってきたかを痛感させられ、後期研修前に自分を見つめ直す大きなきっかけとなりました。病院スタッフの皆様には大変ご迷惑ばかりおかけしたと思いますが、私のような無知な研修医にも熱心に指導して頂いて本当に感謝しています。今まで大学病院では出来ていなかった、スタッフと協力して医療を行うことの大切さを実感しました。また、患者さんの退院後の生活まで見据えた医療を行うことの難しさを目の当たりにし、地域に密着した病院としての役割を学ぶことができました。今後は、紀南病院での経験を生かして、何事にも責任ある医療を行えるように頑張っていこうと思います。とっても楽しい1ヶ月でした。本当にありがとうございました。



ひろ吉の出し巻き卵、めっちゃおいしかったです！！



短い間でしたが、紀南病院での研修では、本当にお世話になりました。あらためてしっかりと勉強しないといけないと再認識し、今後に向けて良い刺激になりました。また研修だけでなく、三重県を存分に満喫して本当に楽しい一ヶ月でした。伊勢神宮に那智の滝、熊野古道、白浜と毎週末遊んでいました。また機会があればぜひ遊びに來たいと思いますので、その際は宜しく願います。

東京大学医学部附属病院

梅井 正彦

